

2018年7月27日 第3253回例会

ガバナー公式訪問例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 北村 会長

<斉 唱> 「それでこそロータリー」

<ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区ガバナー

脇 洋一郎 様

*国際ロータリー第2780地区第1グループAG

加 藤 元章 様

*米山奨学生

金 穂 勲 様

*公益財団法人水交会 理事長

斎 藤 隆 様

<ビジター照会> *横須賀北ロータリークラブ

福 嶋 義 信 様

<会 長 報 告> *新会員入会 鷲尾精一 会員



*第1回理事役員会報告

*ガバナー事務所より

・7月西日本豪雨による被害地への義援金協力依頼

・地区米山奨学セミナー研修会開催のご案内について

8月25日(土) セミナー 14:00~15:35

カウンセラー研修会 15:45~17:00

於：アイクロス湘南

<委員長報告> *R財団委員会徳永委員長よりR財団セミナー報告

*VTT委員会岡田委員長より財団管理セミナー報告

*ローターアクト委員会八巻委員長よりアクターズミーティング報告

<幹事報告> *2018-19年度 地区大会親睦ゴルフコンペのご案内について

*2017-18年度 年間活動報告書 配布

<出席報告> *出席委員会 福西委員長より7月27日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
122名	106名	70名	36名	2名	67.92%

<ニコニコ報告>

・国際ロータリー第2780地区ガバナー 脇 洋一郎 様 本日のガバナー公式訪問よろしくお願ひします。皆様とお会いできることを楽しみにしてまいりました。

・第1グループガバナー補佐 加 藤 元章 様 本日のガバナー公式訪問宜しくお願ひします。

・福嶋義信様(横須賀北RC) いつもお世話になります。

・三 役 第2780地区ガバナー 脇 洋一郎様、本日は大変にお忙しい中、誠にありがとうございます。

・勝見、小平、田邊、上林、杵淵、濱田、鈴木備、勝間、澤田、吉田、福西、鈴木(2)、信木、佐久間、岩瀬、瀬戸、長尾、徳永、波島、若麻績、岡田、齋藤(眞)、西村(俊)、物井、小沢、町田、高橋(働)、小佐野、岡 各会員

国際ロータリー第2780地区ガバナー 脇洋一郎様、ようこそお出で下さいました。

卓話楽しみにしております。

- ・佐久間、前川、齋藤(備) 各会員 米山奨学生 金 穂勅様ようこそお越しいただきました。
- ・野坂、吉田、新倉(備)、鈴木(備) 各会員 横須賀北ロータリークラブ福嶋様ようこそお越しくさ
いきました。
- ・加藤(備) 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 鷺尾会員、本日ご入会おめでとうございます。どうぞすばらしいロータリーライフをお
過ごしてください。
- ・勝見、松本(備)、小林(備)、加藤(備)、勝間、澤田、吉田、
新倉(備)、前川、角井、松本(備)、高橋(備)、野坂 各会員
鷺尾会員、入会おめでとうございます。これから共に楽しみましょう。
- ・鷺尾 会員 本日より入会させていただきます。末永く宜しくお願いします。
- ・高橋(備)、植田、渡邊、谷 各会員 先日行われた8番テーブルミーティング。北村会長、江沢副
会長にも出席頂き大盛会となりました。花野家でのお食事も美味しかったです。
- ・瀬戸 会員 本日、横須賀中央駅Yデッキ下にて、「西日本豪雨チャリティー」で海軍カレー、海自
カレーのチャリティーを行ってきました。御協力頂きました方々に御礼申し上げます。
- ・小林(一) 会員 お久しぶりです。喉の手術も無事に終わり、少し声も出せるようになりました。
- ・渡邊、植田、高橋(備)、北村 各会員 谷会員より写真をいただいて

<卓 話>

国際ロータリー第2780地区
ガバナー 脇 洋一郎 様

生年月日：1949年10月15日生

所属クラブ：茅ヶ崎湘南ロータリークラブ

職業分類：不動産管理

職業／役職：有限会社脇材木店 代表取締役

【ロータリー歴】

1990年4月	茅ヶ崎湘南ロータリークラブ入会	2015-16年度	地区研修委員会 副委員長
1995-96年度	茅ヶ崎湘南ロータリークラブ 幹事	2016-17年度	ガバナーノミニ
2003-04年度	茅ヶ崎湘南ロータリークラブ 会長		地区戦略計画委員会 委員
2004-05年度	地区副幹事		地区危機管理委員会 委員
2006-07年度	地区ロータリー情報委員会 副委員長	2017-18年度	ガバナーエレクト
2007-08年度	地区ロータリー情報委員会 委員		オンツー・トロント委員会 委員長
2008-09年度	ガバナー補佐(第4グループ)		地区戦略計画委員会 委員
2009-10年度	地区広報委員会 委員長		地区危機管理委員会 委員
2010-11年度	地区ロータリー情報委員会 委員長		地区立法案検討委員会 委員
2011-12年度	地区クラブ奉仕委員会 委員長		姉妹地区委員会 委員
2012-14年度	地区R財団資金推進委員会 委員長		地区ロータリー財団委員会 委員
2014-15年度	地区研修委員会 委員		

こんにちは。今年度ガバナーを務めます脇です。どうぞよろしくお願ひいたします。

横須賀ロータリークラブは大変に伝統と格式があります。当地区にとりましては、小沢パストガバナーならびにロータリー米山奨学会理事長、そして小佐野パストガバナー、それからお亡くなりになりましたが渡辺治夫パストガバナーを始め大勢の方々からご指導を頂いて私も今日までまいりました。本当にありがとうございます。

ガバナー会等で他地区の同期ガバナーの方々とお話をする機会があるのですが、2780地区といいますと大変有名で特別の目で見られます。それは小沢パストガバナーがR I 理事、財団管理委員や米山奨学会理事長と色々な要職をこなして活躍され、世界のロータリーそして日本のロータリーに大いに貢献されたことの表れだと思っています。ですから私たちは2780地区の看板を背負っている限り、いい加減なことにはできないといつもその様に思っております。本年はこちらのクラブから出ている加藤元章ガバナー補佐共々と1年間勤めてまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

それではR I のバリー・ラシン会長の今年度のテーマについてお話ししたいと思います。私は本年1月14日から21日までサンディエゴで開催された2018年R I 国際協議会に参加しました。ホテルに着いた時に小沢さんを始め日本からのシニアリーダーのトップの方々にお出迎えをしていただいたことに家内も含めて大変感激したことを覚えています。小沢さん本当にありがとうございました。この国際協議会の目的は、世界539の地域からガバナーエレクトを招集して、激励と意欲の喚起、次年度に向けてのR I のテーマの説明と実施、R I の最新の優先項目と推進活動に関する最新情報の提供を行うというものです。世界から539名のガバナーエレクトが集まるわけですが、そのうちの110名(約20%)は女性ガバナーです。日本の場合には34地区ありますが女性ガバナーは東京の服部陽子さんお一人だけなので、日本の女性ガバナーや女性会員をこれからもっと増やして活性化させたいと思ひました。ラシン会長もそのようにおっしゃっていました。

ひとつ女性ガバナーに関してエピソードがございます。このサンディエゴのホテルでエレベーターに乗りましたらインドから来ているご夫妻に会いました。私は旦那さんの方がガバナーだと思ひて英語で「私はインドのポリオワクチン投与の奉仕で2回も行ったのですよ」と話しかけました。そしたら奥様が急に肘をぐっと張って旦那様の前に出てきて「あなたは2回もインドに来てくれたんですね。感心しました。」とおっしゃいました。実は女性の方がガバナーで、ご主人は付き添いで来ていたわけです。日本の常識ですとガバナーはご主人の方なのかなと思ひてしまったのです。これから皆様も行かれる時には間違えないようにしていただきたいと思ひます。

到着した日の午後7時30分から本会議があり、その中でバリー・ラシンR I 会長エレクトからインスピレーションのテーマで講演がありました。バリー・ラシンという方はカリブ海のバハマ諸島の出身なので、テーママークは波の模様、テーマネクタイはオーシャンブルーを基調にしているということです。会長は次のようにおっしゃいました。私たちに与えられた責任は、1) 効果的かつ効率的に奉仕する。2) 意義ある持続可能な方法でより多くの人に変化をもたらす。3) 先人たちの活動の上に将来のための堅固な土台を築く。4) ロータリーの活動が成長し続け世界に役に立つようにする。この四つが重要であり、これがサンディエゴに集まったガバナーエレクトに対する心得であるというお話でした。

次にビジョン声明というものを発表しました。ロータリーの新しいビジョン声明を作ることがインスピレーションになります。この声明は昨年6月に国際ロータリーの理事会で採択されたものです。このビジョン声明を地区内のクラブそしてロータリアンの方々によく知っていただくよう指示をされました。以下がビジョン声明です。私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生むために人々が手を取り合ひて行動する世界を目指しています。この持続可能な変化ということ非常に重要視されました。ではなぜ変化が必要なのかということですが次のように述べています。ロータリーの会



員数はこの20年間ずっと120万人程度で低迷し会員の高齢化が進んでいます。活動を通じて変化をもたらすための知識や意欲を持たないクラブがあまりにも多すぎます。ロータリーが世界でどんな活動をしているかを知らず、ロータリーと財団のプログラムを知らないクラブや参加方法がわからないクラブもあります。ですから変化させることでこういったことを変えていくのだということだと思ふのです。120万人という枠組みは20年間ほぼ変わらないのですが内容が変わってきております。というのは先進国のロータリークラブ、アメリカ、ヨーロッパとか日本のようなクラブは会員数が少しずつ減少していますが、その分発展途上国のアフリカ、インド、アジア、中南米でのクラブや会員数が増えている。すなわち援助する側のメンバーが少しずつ減少して、援助を要請する国々のロータリアンが増えているということです。そういう意味では古いクラブがもっと変化をして世界に貢献できるようなクラブに変化して欲しいということではないかと思ふます。皆さんがここに来た目的は、変化を生み出すことへの意欲をクラブ会長と地区内のロータリアンの心に目覚めさせるためです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるように手助けすることが皆さんの仕事なのです（皆さんというのは当時のガバナーエレクトのことですが）。そしてインスピレーションとは何かということの会長の思いをちょっと読んでみます。

バハマ人である私にとって海は常に特別なものでした。海は隔たりと繋がり両方を象徴しています。諸国の島の岸に立つ時、海に向こうの何千マイルも離れた岸に誰かが立っています。土地、国、言語は違いかもしれませんが同じ海を共有しているのです。この繋がり感覚がインスピレーションであり、届かなそうでありながら実は思うよりもずっと近いものへの憧れです。大きなことに挑戦しようとするインスピレーションをクラブや他のロータリアンに与えてください。より良い世界を作りたいならインスピレーションから始めてください。

ロータリーは既に30数年前から偉大なインスピレーションに基づいて活動しています。それはポリオ撲滅です。30年前ポリオウイルスにより麻痺を発症した人は毎年推定30万人でほぼ全てが子供でした。この数が3年前には74人、2年前には37人そして昨年は21人となりました。ラシン会長は今年患者をゼロにしようとおっしゃったのですが、残念ながら今年度も既に10人ほどの発症がありました。このポリオ撲滅活動というのはロータリーだけでスタートし、それからWHO、全米疾病センター、各国の政府機関、色々な保健機関などが活動に賛同して世界的な規模でポリオ撲滅活動が今日まで33年間続いたのです。そしてもう少しでゼロにできるまで来たわけです。インスピレーションをしてみせるという一つのひらめきとか意志があったからこそ、このポリオ撲滅活動が今成功に導かれようとしているのだと思ふます。そういった意味でラシンRI会長は33年前に偉大なインスピレーションがあったことを話したのです。

私はインドで第2回と第4回のポリオワクチンの投与に参加しましたが、実際行ってみると世界中のロータリアンがこのワクチン投与の活動に参加していました。ロータリアンだけではなくローターアクトもたくさん来ています。ポリオワクチンというのは温度管理が重要でして、温かくなると効力がなくなってしまうのです。ですから一番寒い時期の1月末から2月にかけてインドの全土で実施します。対象者は5歳以下の子供なのですが、インド全土で5歳以下の子供はなんと1億7500万人もいます。日本の人口の約1.5倍が対象者なのです。その子達に投与し続けたからこそインドが数年前にポリオフリー、すなわちポリオ患者がゼロになったのです。しかし、予防活動は毎年毎年続けています。3分2ぐらいの子供たちは裸足で本当に貧しい子供たちです。ある朝スラム街の中に車で入っていくと道の真ん中がぐちゃぐちゃに濡れているのです。雨は降ってないのになんで濡れているのだろうと思ひました。そしたら道の両側の道端に穴が掘ってあってそこから水が噴き出しているのです。要するに皆で水道管に穴を開けて顔を洗ったりしているのです。これは盗水ですね。インドは生き物を大切にしますから牛とか犬とか馬とかいろんな動物が排泄物を落としながら歩いています。そんなぐちゃぐちゃの中で平気で皆さん生活しているのです。それがインドのデリーの街の中ですから日本で言うところと東京ですね。未だにそういった状況です。ホテルに入る時には必ず大きな扉がありまして、その前に車が止まると警備員が全員のボディチェックと武器が持ち込んでいないか金属探知機で調べます。中に入ったら手荷物検査のベルトコンベアに自分のバッグを全部載せてレントゲンで調べるんですね。空港と同じです。それからボディチェックをもう一度してホテルの中に入るのです。そういうことを実際にやっているのです。地方に行くともっと大変ですね。本当に砂埃が舞うようなところで平気で皆さんが生活しています。ある大きな病院の中に国際ロータリーが援助をして後遺症の人たちを治す病棟を持っています。私も2回そちらの病院に行きましたけど先生方が本当に一生懸命色々な治療法で後遺症

に苦しむ若い人たちを治しています。特に女の人が歩けるようにならないとお嫁にいけないということで歩けるようになるための治療とか訓練とか沢山行っていました。それは国際ロータリーが援助をしたお金でやっていました。

いかにポリオが悲惨かということを私も子供のころに実感しています。その話をちょっとさせていただきます。私が小学四年の時ですが同じクラスに小児麻痺の子がいました。彼は右半身がほとんど動かなくてやっと歩いている状態で言葉もほとんどまならないようでした。ある日、算数の時間に先生が黒板に大変難しい式を書いたのです。誰か答えられる人はいませんかと聞いたところ誰も答えられませんでした。その時に彼が本当に震える足で黒板に歩み寄って正解を書いたのです。彼は元々素晴らしい才能の持ち主だったのですが、幼少時の時にポリオに侵されたためにこの才能を開花できなかった。残念ながら彼は病弱だったために二十歳前に亡くなりました。そんなことが世界中で35万件も起こっていたのです。それをロータリーが主導して今日まで減らしてきたのです。これがポリオ撲滅活動だったと思います。ではなぜポリオがなくなるのかという事なのです。今、アフガニスタンやパキスタンにはまだ10-20人の患者がいます。ここは全てゲリラが占領している地帯なのでポリオの撲滅チームがこういうところに入っていくとアメリカCIAの手先だと思われて殺されてしまうのです。ですからお医者さんとか看護師さん技術者がたくさんこの地域で殺されています。それでなくなるのです。ポリオ撲滅は健康とか保健の課題でもあります。それ以上に今や戦争と平和の問題であるとも言えます。ですから最後の最後までしっかりと時間とお金と労力をつぎ込んでこの活動をしていかなければならないというのが我々の考えです。その辺をご理解いただいてインスピレーションそしてポリオ撲滅、これを今年一年続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に2780地区の方針を簡単に述べさせていただきます。6項目あります。ロータリーの目的は奉仕の実践です。クラブ独自又は財団の地区補助金、グローバル補助金を活用して地域社会に国際社会に青少年のために奉仕活動を実践する。ロータリー米山記念奨学生を積極的に支援する。2番目といたしましてRI戦略計画の推進。クラブのサポートと強化。人道的奉仕の重点化と増加。クラブレベルを超えた指導者の育成をクラブのサポートと強固のなかでは強調していますが、国際的なテーマに対して協力したりできるような体制になりましょうということです。3番目は会員増強と会員維持。クラブ会員数は50名以上のクラブは純増3名を目標としていただきたいと思っております。そして4番目は寄付のお願いです。年次目標としては1人200ドル以上、恒久基金は1クラブ1000ドル以上、ポリオ撲滅は1人40ドル以上ということで目標を立てておりますので是非よろしくお願いいたします。それから米山奨学会ですね。こちらはですね普通寄付を含めまして1名2万円以上が目標でございます。5番目がロータリークラブを対象とするロータリー賞へのチャレンジ。RI戦略計画の三つの優先項目を推進するために各分野の三項目を達成する。そして6番目はマイロータリーの登録率の向上。マイロータリーにログインすると会員専用のコンテンツと自分のプロフィールを閲覧することができます。このサイトにはロータリーに関するお役に立つ情報がたくさん載っております。今年度は地区にマイロータリー推進委員会を設け、このマイロータリーへの登録普及を図っていきたいと考えております。現在、当地区の普及率は28%です。これは日本の34地区の中ではトップクラスではありますが、それでもまだ28%ですからこれを是非この倍以上に登録率を増やしていきたいと思っております。マイロータリーに入ることによって色々なロータリーに関する知識を身に付きますし、またクラブの目標設定もできます。そうしたクラブの目標設定を毎年続けていけばクラブのいろんな指標もチェックすることができますので、ぜひその点を含めましてマイロータリーの登録率の向上に計りたいと思っております。

以上です。雑駁ではございましたがRI会長のテーマと地区方針についてお話しさせていただきました。ご清聴ありがとうございます。

<閉会・点鐘> 13:30 北村 会長

週報担当 中村 正